

とげ

シリーズ・パウロ

第29回

パウロに与えられた「とげ」

- 「また、あの啓示された事があまりにもすばらしいからです。それで、そのために思い上がることのないようにと、**わたしの身に一つのとげが与えられました**。それは、思い上がらないように、わたしを痛めつけるために、サタンから送られた使いです。この使いについて、離れ去らせてくださるよう、わたしは三度主に願いました。」 <2コリント12:7-8>

パウロの病気

- 「身に一つのとげ」とはパウロの持病？
 - 突き刺さって取れないとげ
- 「わたしを痛めつける」という表現から、**痛みを伴う病気**だと思われる
 - マラリヤ、目の病気、不眠症、頭痛？
- 多くの病気を癒し、死人をさえよみがえらせたパウロが、持病を抱えていた！

パウロの不思議な体験

- 「わたしは、キリストに結ばれていた一人の人を知っていますが、その人は十四年前、**第三の天にまで引き上げられた**のです。体のままか、体を離れてかは知りません。神がご存じです。わたしはそのような人を知っています。彼は**樂園にまで引き上げられ、人が口にするのを許されない、言い表しえない言葉を耳にした**のです。」 <12:2-4>

●「第三の天にまで引き上げられた」

- ユダヤには天が七層になっているという思想があり、神はその上におられると考えられていた
- 「樂園にまで引き上げられた」
- パウロは地上から離れ、神様に少し近づいた

●「体のままか、体を離れてかは知りません」

- 具体的なことは自分にも分からない

●「人が口にすることを許されない、言い表しえない言葉を耳にした」

- 特別な啓示を受けた

思い上がることのないように

- 「あの啓示された事があまりにもすばらしいからです。それで、**そのために思い上がることのないように**と、わたしの身に一つのとげが与えられました。」
- あまりに素晴らしい体験をした自分を誇ることがないように
- 「とげ」があることで、一人の弱い人間にすぎないことを自覚する

十分な恵み

- 「この使いについて、離れ去らせてくださるように、わたしは三度主に願いました。すると主は、『**わたしの恵みはあなたに十分である。**力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ』と言われました。」 <8-9>
- 癒されるように**三度祈った**
 - イエス・キリストのゲツセマネの祈りと同じ回数
- 主は、痛みも恵みである、と語られた
 - 「力は弱さの中でこそ十分に発揮される」のだから

弱さを誇る

- 「だから、キリストの力がわたしの内に宿るように、むしろ大いに喜んで自分の弱さを誇りましょう。それゆえ、わたしは弱さ、侮辱、窮乏、迫害、そして行き詰まりの状態にあっても、キリストのために満足しています。なぜなら、わたしは弱いときにこそ強いからです。」＜9-10＞

キリストの力が宿る

